

《研究課題名》

鼻副鼻腔内反性乳頭腫症例の臨床的検討

《研究対象者》

西暦 2000 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までに滋賀医科大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科で、鼻副鼻腔内反性乳頭腫に対して手術を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の過去の診療録からカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》

鼻副鼻腔内反性乳頭腫症例の臨床的検討

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2024 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 大江祐一郎

（２）研究の意義、目的について

《意義》

鼻副鼻腔内反性乳頭腫は良性腫瘍で、手術による摘出が治療の基本です。しかし、基部の残存による術後の再発が問題となります。また、良性腫瘍ですが、悪性転化のリスクがある腫瘍であり慎重な経過観察が必要です。鼻副鼻腔内反性乳頭腫に対する手術成績はいくつかの施設で自験例の検討・報告が行われています。進行度などに対する術式の選択や再発率の検討、悪性転化を防ぐことに関して、まとまった症例の報告/検討は我々耳鼻科医にとって大変重要な責務です。

《目的》

滋賀医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科で手術を行った鼻副鼻腔内反性乳頭腫例について、過去の診療録から年齢、性別、Krouse 分類、再発の有無、扁平上皮癌合併の有無、術前診断、手術法について検討します。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

オプトアウト

2000 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの 20 年間に当科で手術を行なった鼻副鼻腔内反性乳頭腫例を対象に、年齢、性別、Krouse 分類、再発の有無、扁平上皮癌合併の有無、術前診断、手術法について、診療録から収集したデータを解析します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

診療記録、年齢、性別、Krouse 分類、再発の有無、扁平上皮癌合併の有無、術前診断、手術法

《試料・情報の管理について責任を有する者》

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 大江祐一郎

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 大江祐一郎

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2261

メールアドレス：hqtola@belle.shiga-med.ac.jp